

PTAの活動紹介 第8回

郷土愛を育む PTA活動 ～三宅村立三宅中学校PTA～

三宅村立三宅中学校

- 平成19年 開校
- 生徒数/31名(4クラス)
- 校長/大房 裕司

三宅島は、平成12年に噴火が発生し、全島民に対して島外避難指示が発令されました。三宅村立三宅中学校は、避難指示解除後に島内にあった中学校三校(三宅中学校、阿古中学校、坪田中学校)が統合して、平成19年4月に開校した学校です。

今回は、現在三宅島で唯一の中学校である、三宅中学校のPTA活動を紹介します。

○島しょPTA研修大会の運営

昨年度、「子供が伝える 島の魅力 郷土愛と島の未来」をテーマに、第23回東京都島しょPTA連絡協議会合同研修会が三宅島で開催されました。

合同研修会では、「あきらめない心」を演題として、東日本大震災に伴う経営危機を乗り越えたリゾート施設の復興の歩みについて、施設の顧問自らが講演を行いました。講演は、常に自然災害と隣り合わせの島しょ地区に暮らす人々にとって共感することも多く、とても参考になる内容でした。

三宅村立三宅中学校PTA(以下「PTA」という。)は研修会の運営に携わり、その準備から報告書の作成など最後まで大会を支えました。



合同研修会には、他島からも多くの参加者が出席しました。



天気が悪い中、早朝から集まり、池の清掃を行いました。

○三宅中学校開校10周年に向けて

三宅中学校開校10周年を迎えるに当たり、PTAが中心となって、中庭の池の清掃を行いました。水中ポンプを使用して池の水を排出し、池底に溜まったへどろや落ち葉等の清掃、周辺の草刈りなどを実施しました。給水管の設置や伐採した草木の運搬もみんな協力して行い、清掃後には、学校にウォータークリーナー2基を寄贈しました。

「積極的に環境改善に取り組む大人たちの姿を見せて、生徒たちの郷土愛を育みたい。」との思いから、台風前の悪天候の中、多くの保護者たちが清掃に積極的に参加しました。

○郷土愛を育む数々の取組

池の清掃以外にも、PTAでは生徒たちの郷土愛を育むための様々な取組を行っています。年に2回、地域の住民等とともにグラウンドの芝刈りを行っているほか、親子環境美化デーとして、毎年、校庭の草木の剪定や、落ち葉拾い、草木の植え付け等の活動を、生徒や先生方と一緒にしています。

また、学校の文化祭では、PTAが「村の鳥」にも指定されているアカコッコを毛糸で編み、作品として出展しました。

三宅中学校は生徒数が少なく、PTA活動における保護者一人一人の負担は少なくありません。しかし、地域の方々と協力しながら、島ならではの活動を数多く実施しています。

「PTAが主体となって島の郷土愛を盛り上げ、将来を担っていく子供たちや三宅島のために貢献していきたい。」という、会長の力強い言葉が印象的でした。



文化祭でのPTA出展作品

三宅村立三宅中学校PTAは、東京都レベルのPTA組織である「東京都公立中学校PTA協議会」(以下「都中P」という。)に加盟しています。都中Pは、研修会や広報紙コンクール、情報交換会等を行っており、心豊かな子供を育てるPTA活動を推進しています。